

メディア掲載情報

媒体名	建材Navi
掲載号	2013年9月号
掲載日	
掲載内容	坂田清茂インタビュー+広告

住まいの階段総合メーカー——カツデンアーキテック

“美しく快適な住空間づくり”のための新アイテム——薪ストーブ「HOMRA (ホムラ)」を新開発、オリジナルのパイプウォール燃焼システムを採用し、癒しの「オーロラ燃焼」を実現

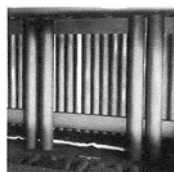
カツデンアーキテック(坂田清茂社長、本社:東京都台東区東上野2-14-1マルコーセンタービル8F)は、“美しく快適な住空間づくり”のための新アイテム——薪ストーブ「HOMRA (ホムラ)」を新開発、全国発売をはじめた。

暖房機器といえば、積雪地域でも灯油ストーブやエアコン、床暖房などが一般的で、国内に出まわっている薪ストーブも、ほとんどが海外製品で純国産品は皆無。そうした状況下、敢えて新開発に取り組んだ薪ストーブ「HOMRA」は、いまリビング階段のトップブランドに成長を遂げたシースルー直階段「ObjeA (オブジェA)」と同様に新たなライフスタイル提案のアイテムでもある。

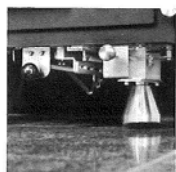


薪ストーブ「HOMRA」をジャパンストーブと呼んでいるように、海外製品にはない日本の住宅事情を考慮した機能、機構、意匠が盛り込まれた特許技術の塊ともいえる商品に仕上げられている。

そのひとつが、震度5以上の横揺れを感知すると吸気シャッターが閉鎖、自動消火する機構である、世界初の対震消化ダンパー【K.E.S.S. (KDAT Emergency Shutdown System)】(特許申請中)を新開発、搭載した。



パイプウォール燃焼システム



耐震消化ダンパー

つぎに、本体内壁部にオリジナル技術の「パイプウォール燃焼システム」(特許申請中)を開発、採用された。パイプウォール構造は、高温燃焼にともな

うストーブ本体(鋼板)の反りなどを抑える効果がある。万が一パイプが劣化した場合にも、簡単に取り替えることができる。また、パイプ下部から上部へ新鮮な空気を供給することで、燃焼効率をたかめ、煙の発生を抑制する効果もあり、灰もほとんど残らないから環境にもやさしい。

さらに、パイプウォールに組み込まれた4本の太いパイプや空気調整弁によって、空気の流れをコントロールし、ストーブ上部で炎が優雅にゆらめく「オーロラ燃焼」を実現した。この「オーロラ燃焼」という視覚効果こそ、“炎をみつめ、ゆっくりと流れる時間を体感する”という、いわば現代版「囲炉裏」といえるようなライフスタイルの提案であり、ジャパンストーブ「HOMRA」の大きな魅力といえる。

意匠的にも、日本古来の鉄器を彷彿させるエンボスパターンを採用し、ジャパンストーブらしさを表現する。カラーも、日本古来の「艶紅レッド」「鉄黒ブラック」の2色を用意する。とくに、薪ストーブにはめずらしい「艶紅レッド」を品揃えている。

搬送・施工面も工夫されている。同社のスチール製リビング階段と同様に、「ノックダウン工法」(現地組立式)を採用。小型軽量化された各パーツを現地に運び組み立てる工法だから、作業者の負担が大幅に軽減できるメリットがある。

新商品の薪ストーブ「HOMRA」と、スチール製リビング階段は、快適なインテリア空間を創出する点で共通しており、リビングを核とした新たなライフスタイルの実現をサポートする。

詳細はHOMRA公式Facebook——<https://www.facebook.com/KdatStove>

シースルー階段「オブジェA」を中心に販売台数月平均165台、地域密着型営業所の拡充でサービス体制強化

——薪ストーブ「HOMRA」の開発意図を改めてお聞かせください。

坂田 なぜ薪ストーブかということですが、燃料として間伐材を使うわけですから、環境への影響は農林水産省のいう「カーボンニュートラル」、カーボンゼロとの考え方です。さらにいえば、山林は間伐材



メディア掲載情報

媒体名	建材Navi
掲載号	2013年9月号
掲載日	
掲載内容	坂田清茂インタビュー+広告

を適宜に処理することで守られるわけで、山林の保護にも貢献できると思う。

ライフスタイルに関していえば、今後とも少子高齢化はすすんでいくとおもいますが、とくにリタイアした男性が薪ストーブの炎を司ることは、家族の中で元気で健康に過ごすための、とてもいいツールになると思いますよ。

すでに、エネルギー問題への関心が高く、自然と触れ合い、それを楽しみたいといった人たちやいわゆる工業化住宅育ちの若い設計者からも注文をいただいている。

——住建事業部、空間デザイン事業（階段事業）、景観事業の内、階段事業の現況をお教えください。
坂田 室内階段は、シースルー階段「オブジェ」を筆頭に、スチール階段「ウェーブス」、フレキシブル階段「フリス」、ミニ階段「ダンデル」、らせん階段の「モデリア」「KDスパイラル」「ウェーブスらせん」、ロフト階段「オブジェロフティー」のバリエーションです。

「オブジェ」を主力にしたリビング階段が圧倒的におおく、らせん階段は販売全体の15%程度です。このところ階段では新商品を出していませんでしたが、いま新商品開発に着手しています。

——昨年度の販売実績はどうだったでしょうか。

坂田 昨年度の販売実績は、前年度比16%増加でした。仙台営業

所が貢献してくれました。ピークは月産250台に達し、月平均165台に回復してきました。階段事業は、東京本社を軸に大阪、名古屋、北関東、仙台の各営業所で展開していますが、北関東や仙台のケースをみても、地元にとりだけ密着したサービス・メンテナンス体制を敷くかがポイントになります。

そうした点からも、1年以内に九州地区に営業所を新設する予定です。その後、中国地区の広島か岡山、さらに札幌や横浜などにも進出してスチール製リビング階段の全国展開を図っていく計画です。



KATZDEN ARCHITEC

W
A
V
E
S

ローコストな
ノックダウン階段

WAVES

スチール階段 PAT.P

大好評! 図面を無料でダウンロード <http://www.kdat.jp>

カツデンアーキテック株式会社

東京本社 / TEL: 03-5812-2295 FAX: 03-5812-2297
 大阪営業所 / TEL: 06-6345-2415 FAX: 06-6345-2416
 名古屋営業所 / TEL: 052-202-1266 FAX: 052-202-1277
 北関東営業所 / TEL: 0495-76-3675 FAX: 0495-76-3896
 仙台営業所 / TEL: 022-390-0121 FAX: 022-390-0124

